

行事名：茨木市 平成18年度 市立小・中学校教頭研修会

主催者：茨木市教育委員会

趣 旨：環境教育に関する教頭の意識向上を図り、各学校で取組を進め、課題解決を図る上での一助とする。

日 時：2006年8月23日(水) 13:00-15:00(2時間)

場 所：茨木市市民総合センター(クリエイトセンター) 研修室

参加者：46人+α(小：32人、中：14人の教頭)

テーマ：「環境教育の考え方」

ねらい：○持続可能な社会に向けた環境教育の目的・目標、内容・方法に関する知識を得る。

○廃棄物をテーマとしたグループワークを体験的に学ぶことを通じて、廃棄物を扱う際の視点や考え方を学ぶ。

時間	内 容	留意点・準備等
13:00-14:00 (60分)	【講師紹介】 【お話し】 ■環境教育の考え方	パワーポイント、資料 学校形式
14:00-14:50 (50分)	【学習活動】 ■ごみって何だろう ①「ごみ箱に捨てられた新聞紙」 →ごみ箱、新聞紙の状態、誰が捨てたか、なぜ捨てたかなどは自由にイメージする。 ②「ごみ箱から拾われた新聞紙」 →誰が、何のために拾ったかは自由にイメージする ③「竹やぶに捨てられていた金庫の中の1億円」 ④「道路に放置されたタヌキの死がい」 ⑤「山の中で発見された白骨死体」 ⑦各自、自分のゴミの辞書をつくってみる。(5分) ⑧隣同士などの2～3人で、各自のゴミの説明を交流し合う。(5分) ⑨1, 2人発表する。 ⑩ワークのまとめ	「ゴミって何だろう」ワークシート ホワイトボード or 黒板
14:50-15:00 (10分)	【質疑・補足】	